

令和7年度 歌島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

◆3年生チャレンジテストの課題と対策

【数学】

1. 「データの活用」領域の集中的な強化

実生活や社会の事象と数学を結びつける訓練を重点的に行います。

問題の「解釈」練習: 与えられたグラフや表が何を示しているのかを正確に読み取る練習(読解力)を最初に行い、その上で「交点の座標が表す意味」など、事象に即して解釈し説明する訓練を強化します。

関数の応用: 1次関数やその他の関数を、単なる計算練習で終わらせず、「参加者数と総額の関係」のように、具体的な事象と結びつけてモデル化し、問題を解決する過程を体験させます。

2. 基礎的な知識・技能の確実な定着

基礎知識の反復学習と、正確なアウトプットを促します。

基礎ドリルと小テスト: 数と式、図形の基本的な公式、定理、基本的な計算(正負の数の計算、式の展開・因数分解など)について、短時間で正確に解答するための反復学習ドリルや小テストを継続的に実施します。

過程の重視: 計算問題や証明問題では、正解だけでなく、途中の式や論理の流れを記述させる指導を強化し、知識を正確に使う力を養います。

3. 無解答率の改善(粘り強さと時間管理)

解答へのハードルを下げ、全問への取り組み意識を高めます。

解答の試行錯誤を奨励: 難しい問題でも、**「まずは分かるところまで手を動かす」**ように指導し、無解答を避ける意識を高めます。部分点獲得を目標とすることで、記述への心理的な抵抗を減らします。

時間配分のシミュレーション: 模擬テストを行う際、各大問の配点や難易度に応じて、各自で目安の時間を設定させ、時間内に全問をチェックする練習を定期的に行います。

【理科】

1. 「粒子」領域(化学)の知識の徹底と計算演習

化学分野の基礎概念を視覚的に理解させ、計算を伴う問題への抵抗を減らします。

モデルを活用した指導: 原子、分子、イオン、化学反応(特に中和)のモデルや図を使って、目に見えない粒子の動きや結合の仕組みを視覚的に理解させます。

計算問題の反復: 質量保存の法則や化学変化の量の関係など、計算を伴う問題を授業で丁寧に扱い、解法パターンを定着させるためのドリル演習を増やします。

2. 記述力・論理的思考力の養成

「なぜそうなるのか」を明確に言語化する訓練を強化します。

記述の「型」指導: 記述問題の解答作成において、「観察・実験事実(根拠)→理科の知識・法則→結論(説明)」という論理的な構造を意識させます。

短文での説明練習: 難しい記述問題にすぐに取り組ませるのではなく、短い文章(例:「○○の理由を△△という語句を使って簡潔に述べよ」)で、用語の定義や現象の理由を正確に説明する練習を日常的に取り入れます。

3. 「地球」領域と無解答率対策

観測のイメージ化: 地学分野(特に天体)については、図やシミュレーションを活用し、現象を立体的に捉える力を養います。

4. 無解答率の改善(粘り強さと時間管理)

粘り強い解答指導: 記述問題や短答式問題で、無解答を避けるように指導し、分からなくても関連用語や図表のヒントから解答を試みる姿勢(部分点獲得の意識)を徹底させます。

【英語】

1. 「聞くこと」の訓練の高度化

単語を聞き取るだけでなく、内容の要点や複数の情報を記憶・統合する訓練に焦点を当てます。

情報整理型リスニング: 音声を聞きながら、メモを取る、チェックリストを埋める、表を完成させるなど、聞いた情報を視覚的に整理する活動を取り入れ、情報の取捨選択と保持力を高めます。

要約・復唱練習: やや長めの対話やモノローグを聞いた後、聞いた内容の要点を英語で復唱したり、要約を記述したりする練習を導入し、内容の包括的な理解を促します。

2. 「書くこと」の段階的な指導と表現力の強化

記述式の得点率改善のため、正確な文法と豊富な表現のストックを増やします。

「型」を活用した作文練習: 意見を述べる、理由を説明する、経験を伝えるといった典型的な英文の「型」(例:I think that... because...)を定着させ、まずは正確な文法で文を構成する訓練を徹底します。

語彙・構文のインプット: 授業で扱った文章や対話から、表現力の高い単語や定型的な構文をピックアップし、それを自分の作文で使ってみる練習を奨励します。

3. 文法知識の「運用」練習の強化

基礎知識を応用して、複雑な文構造を構築する力を養います。

並べ替え問題の強化: 並べ替え問題を解く際に、**なぜその語順になるのか(主語、動詞、目的語、修飾語句の関係)**を口頭で説明させるなど、文構造を意識した演習を行います。

即時英作文(クイックライティング): 日本語の短文(例:「私は昨日、友達と図書館で勉強する予定だったが、雨が降ったので家で過ごした」)を、すぐに英語で表現する練習を取り入れ、文法知識を即座に運用する力を高めます。